

## 「働き方改革」アンケート 寄せられた貴重なご意見（自由記述）

## 3. 「働き方改革」について、あなたの捉え方として当てはまるものは？

- ・人材の定着化＝離職防止の面でも重要と考えている
- ・「働き方改革」は、日本人の「生き方改革」につながるものであり、働くことに関して真の「脱戦後」時代を迎えるために必須である。
- ・有給休暇の取得率とのバランス
- ・取組んでいるが結果が怖い。特に建設業にはきつい
- ・やれるところはやったら良い
- ・現状働き方改革による平準化を図るための人員が確保できない。中小企業は人員確保が非常に困難である。
- ・生産効率 UP のため、AI、ICT の推進を積極的に実施
- ・労働力確保の為
- ・社員一人ひとりも仕事の改善、改革が必要であり、これも仕事の重要な要素であると捉えて推進できる仕組み造りが大事
- ・いろいろな面倒があると考えた
- ・一律的な改革ではなく各業種に合わせた改革が必要。女性が出産後も働けるよう、高齢者もできるだけ元気な方は働けるよう制度を変えるべき
- ・従業員のニーズを会社が把握し、それぞれに必要な雇用形態をとっていく必要があると思う
- ・働き方改革は就業幸福度向上を目指すものとする。 ・評価賃金制度（導入済） ・有給の奨励 ・データ入力作業者自宅ワークスタイル導入済（変則フレキシブル）
- ・賃加工の立場は国には解らないとおもいます。より単価は安くしなければ受注はできない。品質と納期と単価で勝負しています
- ・勉強不足で「働き方改革」の意味がわからない。いかに会社経営を維持し発展させていくか？それが最重要と考えている。

## 4. 職場において現在取組んでいること、これから取組もうとしていることは？ 具体的実践項目等

- ・社内全面禁煙実施、社員のタバコ健康被害防止
- ・育児短時間勤務制度の適用拡大他
- ・毎年の経営方針発表の際、労働時間あたりの売上高が見える化。女性社員の親睦ミーティングを定期開催、意見を経営に反映
- ・夏期の特別休暇制度（自由に3日間）
- ・会社として働き方改革について工夫している
- ・休暇で安価に家族旅行ができるよう会社が補助している
- ・まず、自分の思い通りにやらせてみる
- ・集中休暇7日以上取得、月1土曜日閉所（工事作業所）
- ・在宅学習システムの運用開始（30年4月）
- ・社員のメンタルヘルス面接の実施する係りを作った

- ・半日有給休暇を認めている
- ・週休 2 日制の導入済み
- ・業務効率化
- ・仕事の達成感ややりがいを感じることができる会社としての取組み
- ・従業員休憩室の整備見積依頼中。環境を良くする取組
- ・フレキシブルタイム制導入予定、就業規則の更新
- ・発注企業がジャストインタイムの為、下請け企業に多大な負担になる残業をして納期を守る。  
残業をしなくて利益が上がる方法は？
- ・国主導で進めたところで？？？
- ・現在の状況で不満も何も無い

## 5. 「働き方改革」の最終目標・着地点は何だと思えますか？

- ・ある企業の「1 ベスト」活動で生産性イノベーション
  - ①電話 1 分以内 ②会議 1 時間以内 ③報告書提案書 1 枚以内
- ・国際的な人材の流動化への対応
- ・今後社会にあふれるであろう発達障害の人たちへの取組み
- ・今後の課税増に向け政府が国民にしわ寄せがいかぬよう企業に対し制限を与えているのではないか
- ・良好なメンタルヘルス
- ・血税の使い方を知らない政治家の屁理屈

## 6. 「働き方改革」についてその他の自由なご意見

- ・改革の定義が各企業間で差があるのが実態、そこをどう評価するかが課題と思う
- ・テレワーク等在宅勤務、ダイバーシティマネジメントを問われている
- ・医師の働き方改革はなかなか難題です。
- ・生産性を落とさず働き方をどう進めるか知恵のしぼりどころだ
- ・単なる時短にならないよう生産性を目指す
- ・労使双方にとってあらゆる意味での消耗戦を脱し、一人ひとりの人生の価値、そして企業の価値を高めるために取り組むべき改革である。
- ・働き方改革の進展により、将来的には働く人、企業、地域社会の関係が大きく変わることにつながると思われる。具体的には企業が働く人を囲い込む時代が終わり、それぞれの人がこれまで以上に直接地域社会とつながり、複数の企業や団体と関わって生活の糧を得つつ、人生トータルでの自己実現を目指す時代となると考えている。  
但し、会社による社員の保護も弱くなるので、弱者をフォローする観点を忘れないことも重要となる。
- ・働きたい人が働きたいときに働き、休暇を取りたいときに休める制度の構築が必要。各社の実態に合わせれば良い
- ・時間、数字ありきは危険。バランスを持った取組みが必要
- ・原点に戻り、終身雇用、年功序列制の復活を
- ・残業が一番ネックになる。残業代は他で支払っている

- ・楽しい就業人生活
- ・中小企業は生き残りをかけて闘っている。意識改革とは時間がかかる（現状は直ぐには進まない）
- ・制度改革より風土改革が先。まずは国会議員と霞ヶ関より範を示すべき
- ・中小企業には大変ハードルが高い改革ではないか
- ・生産性向上のための議論とその支援策強化が不可欠
- ・働く基本は額に汗することを忘れてはならない
- ・生産性向上と残業減との関係、良い方向に行くよう改革を進めます
- ・休日が業務改善、向上につながる
- ・経済的効果が出るとは思わない
- ・果して何をもって同一労働というのか不明確のまま進められていると感じます
- ・欧米とは文化が違うので日本の文化や習慣にあったものにすべき
- ・政府で法改正されるかもしれないが、外国人受入のルール等もう少し現場の現実に見合うものになれば人手不足を解決できると思う
- ・自社商品は利益率はよいが賃加工は時間の切り売り以外に方法は無い
- ・エビデンスベースが大事
- ・有給が取れる体制が必要
- ・誰もが自分を生かし社会に係わり貢献できる社会であって欲しい
- ・倉敷には大原孫三郎氏が労働環境の改善と生産性向上を両立させた先駆的な動きがあります
- ・日本の競争力の低下に繋がる
- ・中小零細の企業にとっては困難です
- ・企業格差、職種分野では無理がある
- ・仕事と家庭とのバランス取れた生活、男性の意識改革が必要で、教育や家事のかかわりを持つこと
- ・経営者であろうが従業員であろうが各自が理想とする働き方、生き方を実現するために日々努力をするしかないと思っている。